



まちの話題



4歳児（左）に鬼剣舞で使う道具を渡し、握手で激励する5歳児（右）



伝 六原幼稚園「六幼鬼's」引き継ぎ会 伝統芸能を次代に繋げる

六原幼稚園で2月17日、5歳児が取り組んできた鬼剣舞「六幼鬼's」の引き継ぎ会が開かれました。卒園する5歳児10人は、3、4歳児やこれまで演舞を教えてくれた六原鬼剣舞保存会の関係者に最後の演舞を披露。その後、5歳児から4歳児へ演舞に使う道具などが手渡され、「最高の鬼剣舞にしてください」「がんばって練習してね」と激励しました。4歳児は、真剣な表情で道具を受け取り、「今度は私たちががんばっていく」と目を輝かせました。

白糸まちなみ交流館の職員から雛人形の説明を聞く来場者



雛 第11回金ケ崎要害雛祭り 人形が伝建群彩る

金ケ崎要害^{ひな}雛祭りが2月25日から3月5日まで、城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区内の8施設で開かれました。ことしは感染症対策で中止していたスタンプラリーも再開。来場者は展示されたさまざまな雛人形を楽しみました。白糸まちなみ交流館を訪れた鈴木美弥子さん（北上市）と松田真由美さん（同）は、「手作りの雛人形はなかなか見ない。細かい所まで手が込んでいてただただすごいと驚いている」と満足した表情を見せました。

楽 町社会福祉協議会で「おでん屋台」出店 楽しいメニューで心温まる

町社会福祉協議会の通所介護事業所（デイサービスセンター）で2月14日、おでん屋台が開かれました。利用者に食事を楽しんでもらおうと同協議会が期間限定で企画した屋台週間の一環。穴戸ツマ子さん（高谷野原）は「とてもおいしい。幸せな気持ちになりました」と笑顔で話しました。



熱々のおでんを頬張る利用者の皆さん

白鳥の観察を楽しむ親子



赤 越冬42年 赤石堤白鳥観察会 石堤で白鳥観察会

白鳥観察会が2月19日、六原赤石堤で開かれました。町内から約40人が参加し、堤で越冬する白鳥たちを観察しました。参加した照井に子さん（第一小5年）は「白鳥はいつもより少なかったけどきれいだった。特に白鳥が飛ぶ姿と着地する姿が好き」と白鳥の観察を楽しんでいました。

大 金ケ崎高校でSDGs環境教育プロジェクト 大豆ミートで環境問題考える

金ケ崎高校で2月20日、近畿大学や大塚食品（株）と連携した環境学習が行われました。同社が開発した大豆で肉の食感や味を再現する「大豆ミート」を通じて環境や食品ロスの問題に理解を深めました。後藤太陽くん（2年）は「世界では水不足なので、小さなことから気をつけていきたい」と話していました。



大豆ミートと普通のハムを食べ比べる生徒たち

手拍子で観客と盛り上がり演奏する出演者



音 「かねがさき えきまエイルミライブ」開催 楽に夢を乗せ観客を魅了

「かねがさき えきまエイルミライブ」が2月25日、JR金ケ崎駅で開かれました。町内外から8組が楽曲を披露し観客を魅了しました。出演した桐山このみさん（高校1年）と藤代菜央さん（同）は、「まちで音楽が聞こえることが少なかったの、自分たちで発信できてうれしかった」と充実した表情を見せました。